



## 「豊かな心の育成」

副校長 富岡 直子

中庭には、赤や黄色などの薔薇の花が咲き、アジサイの花が色づき始めています。今年は、全国都市緑化よこはまフェアが開催されましたが、花や緑は人々の生活を豊かに潤してくれます。

5月12日に2年生の野毛山動物園の遠足、5月23日に1年生の舞岡公園の遠足に行きました。1年生も2年生も実行委員を中心に遠足のめあてを決め、出発式や帰校式も堂々として行っていました。1年生は、小学校生活初めての遠足です。バスや電車、公園などの公共の場所で必要なマナーやルールを守るとみんなが気持ちよく生活できることが分かり、一人一人が約束やきまりを守ろうとする心情を養えるように、遠足の様々な場面を想定しながら、「特別の教科 道徳」の授業で「規則の尊重」を学んでいました。

当日、1年生は、遠足の行き帰りのバスの中で、静かにマナーよく行動することができました。途中から乗ってきた大人の人にも、自分たちから声をかけ席を譲ることもできていました。このように、学校生活や日常生活の中での行動を支えている考え方やよさに気付けるように、日常の教育活動等と関連を図りながら、子どもが主体的に学習に取り組めるような問題解決的な学習を工夫し、自己を見つめ考えを深められるような「特別の教科 道徳」の授業を目指しています。

横浜市では、平成 29 年度より「特別の教科 道徳」を実施しています。

「特別の教科 道徳」の目標は、次のように考えられます。

○道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。  
(文部科学省：学習指導要領 特別の教科 道徳より)

「特別の教科 道徳」の授業を積み重ねながら、子どもがいかに成長したかを積極的に受け止めて認め、励まし、その学習状況や道徳性に係る成長の様子をお伝えします。

5月22日の学校説明会で、お示ししました「豊かな心の育成推進プラン」では、「道徳科の授業を保護者へ年1回以上、公開します。研修会を実施するとともに、授業を伴う重点的な研究を行い、道徳科の指導力向上を図ります。」を具体的取組としています。<特別の教科 道徳は、道徳科ともいう>

これから、「特別の教科 道徳」の授業で学んだことを実生活につなげていきながら、子どもたちの豊かな心を育てていきます。その際、家庭や地域と連携し、様々な場面で繰り返し対話をしながら伝えていくことが大切です。今後とも、ご協力よろしくお願いたします。